

2002年11月15日

県民意識調査 第2回女性が働くとき 報告書

(2002年7月19日～8月31日調査)

調査の設計	1
調査の概要	5
単純集計	7
調査票	15



社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610
<http://www.nagano-yoron.or.jp>

調査の設計

調査のねらい

女性の働く場を含めての社会進出は、最近とみに関心が高く、さまざまな分野での活動も盛んになってきている。そして、男女雇用機会均等法や育児・介護休業法の改正などにより、家事をかかえる女性がより働きやすくなるように制度面の整備が進み、男女共同参画社会づくりの取り組みも行われている。

だが、働く女性にとって育児や介護の家庭面と両立させるには依然として厳しさがあり、長引く景気低迷の影響なども見られ、女性がゆとりを持って働ける社会になるのには多くの障害が横たわっている。

個人の意識やライフスタイル、社会情勢などが大きく変わり、女性を取り巻く状況にも必然的に影響があらわれている。こうした変動のなかで、県民は「女性が働く」ことについてどのように考え、受け止めているのかを探る。なお、同じテーマで第1回調査が1999年11月～12月に行われており、今回が2回目になる。

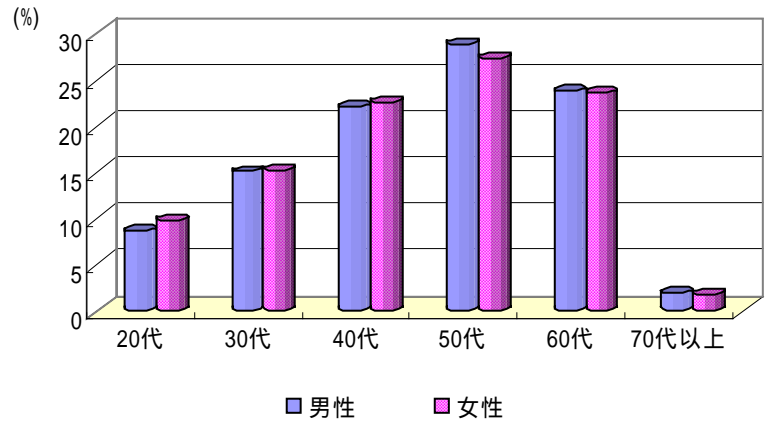
調査の設計

調査対象	長野県内に住む20歳以上の男女1000人
抽出方法	層化二段無作為抽出法。対象者は各市町村の選挙人名簿から抽出
調査方法	郵送
調査期間	2002年7月19日～8月31日
調査地点	17市11町14村(計42市町村)
回収結果	有効回収数514人(51.4%)
調査実施	社団法人長野県世論調査協会

サンプルの内訳

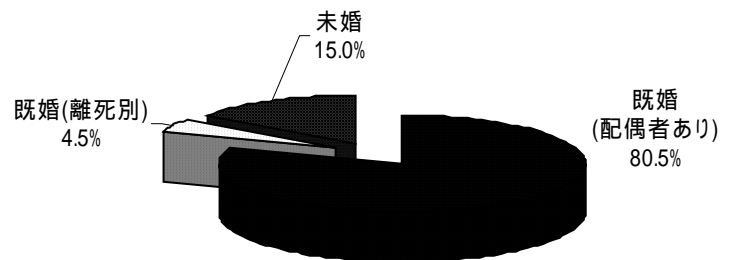
【性別と年代別】

	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
合計	514	44	77	113	148	122	10
	100.0%	8.6%	15.0%	22.0%	28.8%	23.7%	1.9%
男性	225	16	33	48	69	54	5
	43.8%	7.1%	14.7%	21.3%	30.7%	0.2%	2.2%
女性	289	28	44	65	79	68	5
	56.2%	9.7%	15.2%	22.5%	27.3%	23.5%	1.7%



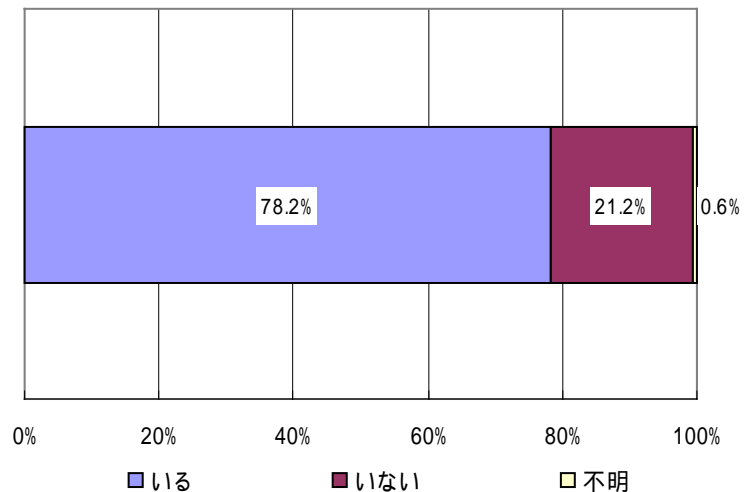
【結婚別】

既婚(配偶者あり)	414	80.5%
既婚(離死別)	23	4.5%
未婚	77	15.0%



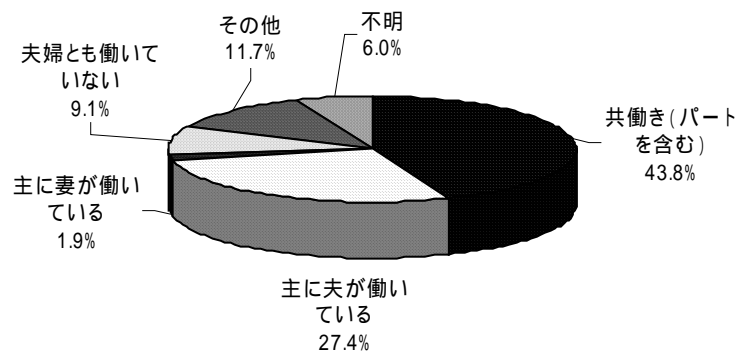
【子どもの有無別】

いる	402	78.2%
いない	109	21.2%
不明	3	0.6%



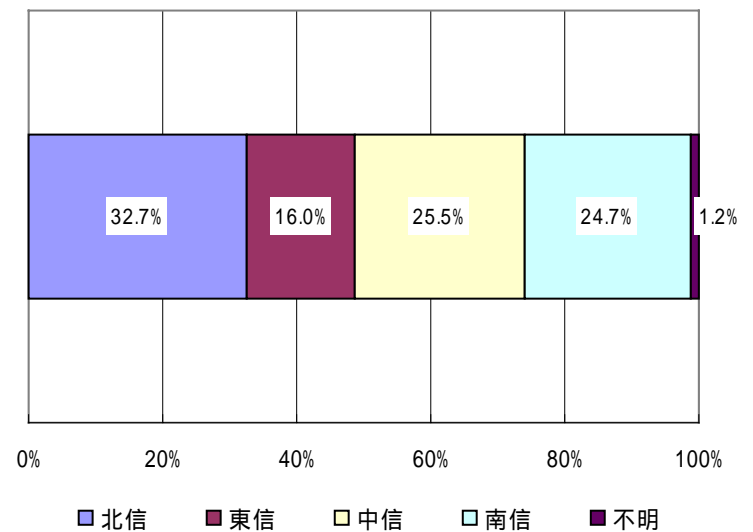
【家庭の就業形態別】

共働き(パートを含む)	225	43.8%
主に夫が働いている	141	27.4%
主に妻が働いている	10	1.9%
夫婦とも働いていない	47	9.1%
その他	60	11.7%
不明	31	6.0%



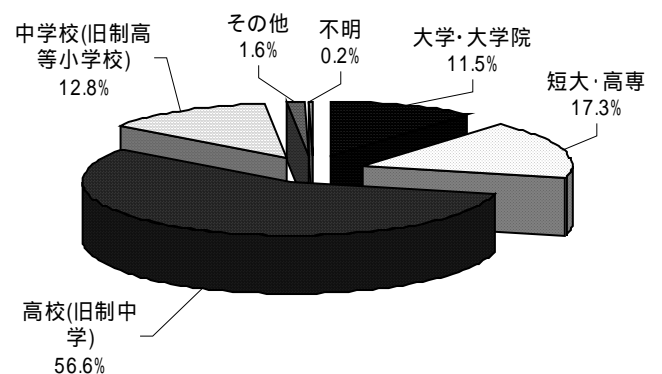
【居住地別】

北信	168	32.7%
東信	82	16.0%
中信	131	25.5%
南信	127	24.7%
不明	6	1.2%



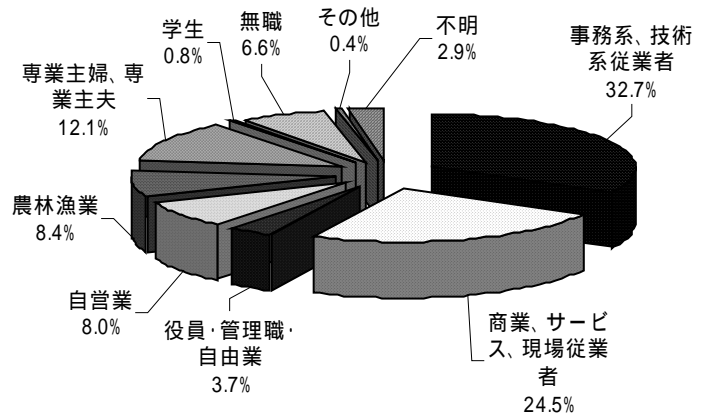
【最終学歴別】

大学・大学院	59	11.5%
短大・高専	89	17.3%
高校(旧制中学)	291	56.6%
中学校(旧制高等小学校)	66	12.8%
その他	8	1.6%
不明	1	0.2%



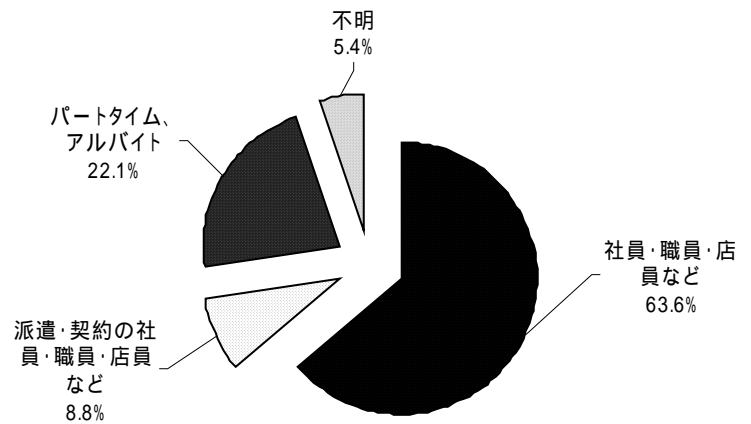
【職業別】

事務系、技術系従事者	168	32.7%
商業、サービス、現場従業者	126	24.5%
役員・管理職・自由業	19	3.7%
自営業	41	8.0%
農林漁業	43	8.4%
専業主婦、専業主夫	62	12.1%
学生	4	0.8%
無職	34	6.6%
その他	2	0.4%
不明	15	2.9%



【勤務条件別】

合計	294	100.0%
社員・職員・店員など	187	63.6%
派遣・契約の社員・職員・店員など	26	8.8%
パートタイム、アルバイト	65	22.1%
不明	16	5.4%



(注) 数票・グラフ%数字は小数点第二位で四捨五入。合計は100にならない場合もある = 以下同じ

調査の概要

働きやすさ

女性にとって日本は全般的に「働きやすい」とする人がほぼ半数を占めているが、女性では「働きにくい」が多く、男性では逆に「働きやすい」が多かった。また、前回調査（1999年11～12月実施）よりは「働きやすい」が少なくなり、「働きにくい」が多くなっている。

一方、長野県内の女性の働く環境については、「なんともいえない・わからない」とする回答が半数を超えており、「働きやすい」が「働きにくい」をわずかに上回っている。

職業に就いている理由

現在収入のある職業に就いている人は73.0%となっており、男性の方が女性より割合が高い。職業に就いている理由としては、女性では上位に「生計維持のため」「家計費の補助のため」「自分で使えるお金（こづかい）を得るため」などが入り、男性では「生計維持のため」が最も多く、続いて「老後に備えるため」「子供の教育・養育のため」などとなっている。

職業に就いていない理由としては、女性では「家事・育児に専念したいから」「仕事を希望しても年齢などの制限があるから」「勤務時間・場所などの条件に合う仕事がないから」が目立ち、男性では「仕事を希望しても年齢などの制限があるから」「定年（退職）」「勤務時間・場所などの条件に合う仕事がないから」などが上位に並んでいる。

仕事の評価や労働条件

「業務」や「賃金」「昇進・昇格」「募集・採用数」などの働く条件について、女性は男性と比べて依然として差別や格差があると男女共通して受け止められており、職場における男女平等の徹底には多くの課題が浮き彫りになっている。そして、女性の「経営の担い手としての評価」や「取引先との折衝や信頼度」でも好意的な回答は少なかった。

このほか、「従業員などの使い方や気づかい」の項目では、女性を前向きに評価する回答が多かった。

男女雇用機会均等法については、「役にたった」が「役にたたなかった」を数ポイント上回っているが、いずれも30%台にとどまっている。女性では「役にたたなかった」が、男性では「役にたった」が多くなっており、両者では違った認識になっている。

家庭内での役割

女性の能力を生かすには仕事と家庭の両立支援が欠かせないが、「子どものしつけ・教育」「老親や病身者の介護や看護」など家庭内での家事分担については、「男女同程度でする」が多く、これに「男女にこだわらない」を加えるとかなりの高率になり、性差にこだわらずそれぞれが補い合う意識がうかがえる。

そして、「育児」「食事のしたく」は、「主に女性がする」が多く男性で支持する割合が高めになっており、「町内会・自治会などの代表者」は「主に男性がする」が目立つ。

県内の働く環境

女性が長野県内で働くのに、条件や環境でよい点としては、「肉親の支援が得られやすい」「通勤が便利」「住宅など生活費が安上がり」が男女とも高い支持を集め、よくない点としては、「給与など待遇がよくない」「自分の能力向上の機会が少ない」「通勤が不便」などが上位に並んでおり、「通勤が不便」は両方であがっている。

行政や企業の働く女性の支援対策

働く女性を支援する行政や企業の対策の現状については、「よくない」が「よい」を上回り、不十分さが指摘されている。そして、男性の方が女性より「よくない」と「よい」の両方で多くなっている。

企業に望む支援対策としては、「勤務する日や時間を弾力化する（フレックス・タイムや在宅勤務）」「出産・育児後に復帰・再雇用する」「介護・看護の支援制度を設ける」が目立ち、行政に対しては「介護・看護の支援制度」「保育・託児の施設」「出産・育児の支援制度の強化」などが多くなっている。

政策決定の場への女性の進出

国や県、市町村の議員や審議会委員などの政策決定の場への女性の進出については、「現状より増やす」が過半数になっており、女性より男性に支持する割合が高い。今後はより進出しやすい環境作りや、行政側の審議会委員への起用などの積極的な取り組みが求められそうだ。

地位の平等さ

男女の地位については、「男性のほうが優遇されている」が「女性のほうが優遇されている」に大差をつけており、男性優位の現状が認められる。

そして、不平等と思う人は「社会慣行・しきたり」「職場」「家庭」「地域」では多くなっており、「学校教育」「法律」では少ない。

単純集計

「女性にとって働きやすい」が半数、前回調査よりは減少

問1 あなたは、女性にとって日本は全般的に働きやすい状態にあると思いますか			99年 前回調査
かなり働きやすい	25	4.9%	6.7%
まあまあ働きやすい	233	45.3%	50.8%
あまり働きやすくはない	199	38.7%	34.4%
まったく働きにくい	24	4.7%	2.7%
なんともいえない・わからない	30	5.8%	5.4%
不明	3	0.6%	-

「子育て後の再就職」や「生涯を通じて」を支持

問2 あなたは、一般的に女性が職業を持つことについて、どう思いますか		
子供ができたら職業をやめ、子育てが一段落したら再び職業を持つ方がよい	225	43.8%
結婚や出産にこだわらず、ずっと職業を続ける方がよい	134	26.1%
女性は職業を持つことにこだわらなくてよい	77	15.0%
子供ができるまでは、職業を持つ方がよい	27	5.3%
なんともいえない・わからない	14	2.7%
結婚するまでは、職業を持つ方がよい	13	2.5%
その他	13	2.5%
女性は職業を持たない方がよい	7	1.4%
不明	4	0.8%

職業に就いているが73%

問3 あなたは、現在収入のある職業(パート、アルバイト含む)に就いていますか		
就いている	375	73.0%
以前就いていたが、今は就いていない	112	21.8%
今まで就いたことがない	13	2.5%
その他	3	0.6%
答えない	6	1.2%
不明	5	1.0%

「生計維持のため」が最多

問4 あなたが、現在職業に就いているのはどんな理由ですか(3つ以内)		
生計維持のため	235	62.7%
老後に備えるため	111	29.6%
家計費の補助のため	99	26.4%
自分で自由に使えるお金(こづかい)を得るため	95	25.3%
社会に参加、視野を広げるため	93	24.8%
子供の教育・養育のため	89	23.7%
住宅の新・改築などに伴う借金返済のため	75	20.0%
自分の能力や才能を發揮したい	67	17.9%
家業であるから	55	14.7%
子供に手がかからなくなったため	32	8.5%
仕事を通じて友人を得るため	25	6.7%
その他	5	1.3%
不明	3	0.8%
特になし	2	0.5%

「年齢などの制限」「条件に合う仕事がない」が障害

問5-A あなたが現在職業に就いていない理由は何ですか(3つ以内)		
仕事を希望しても年齢などの制限があるから	40	32.0%
勤務時間・場所などの条件に合う仕事がないから	33	26.4%
家事・育児に専念したいから	30	24.0%
定年(退職)	29	23.2%
健康や体力に自信がないから	24	19.2%
家族が働くことを望まないから	14	11.2%
賃金・雇用形態などの労働条件に合う仕事がないから	13	10.4%
介護のため	10	8.0%
職業を持たない方が、自由に生きられるから	8	6.4%
仕事以外の活動(ボランティア)をしているから	7	5.6%
経済的に仕事に就く必要がないから	6	4.8%
今の企業社会では女性は働きにくいから	6	4.8%
やりがいのある仕事がないから	6	4.8%
現在、学校などに通っているから	4	3.2%
リストラ	2	1.6%
その他	10	8.0%
不明	8	6.4%
特になし	0	0.0%

若い人ほど就業に意欲

問5-B あなたは、現在あるいは将来再び職業につきたいと思いますか		
思う	54	43.2%
思わない	41	32.8%
わからない	18	14.4%
その他	2	1.6%
不明	10	8.0%

女性は男性と比べ格差、職場の平等にも課題

問6 あなた自身、またはあなたの周りで、女性は男性に比べて次のようなことがあると思いますか				
A 女性は経営の担い手として評価されない	全体		男性	女性
思う	65	12.6%	12.9%	12.5%
どちらかといえば思う	193	37.5%	35.1%	39.4%
どちらかといえば思わない	53	10.3%	11.6%	9.3%
思わない	112	21.8%	29.3%	15.9%
なんともいえない・わからない	85	16.5%	10.2%	21.5%
不明	6	1.2%	0.9%	1.4%
B 取引先や金融機関との折衝などで女性は男性に比べて不利だったり、信頼度が低い	全体		男性	女性
思う	120	23.3%	17.8%	27.7%
どちらかといえば思う	166	32.3%	33.3%	31.5%
どちらかといえば思わない	37	7.2%	7.6%	6.9%
思わない	120	23.3%	33.3%	15.6%
なんともいえない・わからない	64	12.5%	7.6%	16.3%
不明	7	1.4%	0.4%	2.1%
C 女性は職業上必要な知識や経験が不足している	全体		男性	女性
思う	63	12.3%	10.2%	13.8%
どちらかといえば思う	145	28.2%	26.2%	29.8%
どちらかといえば思わない	49	9.5%	12.0%	7.6%
思わない	195	37.9%	40.9%	35.6%
なんともいえない・わからない	58	11.3%	10.2%	12.1%
不明	4	0.8%	0.4%	1.0%
D 女性は従業員などの使い方や気づきがい下手である	全体		男性	女性
思う	57	11.1%	12.9%	9.7%
どちらかといえば思う	79	15.4%	19.1%	12.5%
どちらかといえば思わない	64	12.5%	10.2%	14.2%
思わない	242	47.1%	44.4%	49.1%
なんともいえない・わからない	66	12.8%	12.9%	12.8%
不明	6	1.2%	0.4%	1.7%
E 女性は職業意識が低いものとみられる	全体		男性	女性
思う	68	13.2%	10.7%	15.2%
どちらかといえば思う	151	29.4%	28.4%	30.1%
どちらかといえば思わない	45	8.8%	9.8%	8.0%
思わない	195	37.9%	42.2%	34.6%
なんともいえない・わからない	48	9.3%	8.0%	10.4%
不明	7	1.4%	0.9%	1.7%
F 女性の上司の下で仕事をするのを部下が嫌がる	全体		男性	女性
思う	91	17.7%	17.3%	18.0%
どちらかといえば思う	136	26.5%	28.9%	24.6%
どちらかといえば思わない	30	5.8%	6.2%	5.5%
思わない	129	25.1%	28.4%	22.5%
なんともいえない・わからない	122	23.7%	18.7%	27.7%
不明	6	1.2%	0.4%	1.7%
G 男女で募集・採用数が異なる	全体		男性	女性
思う	247	48.1%	50.7%	46.0%
どちらかといえば思う	126	24.5%	24.4%	24.6%
どちらかといえば思わない	22	4.3%	2.7%	5.5%
思わない	59	11.5%	12.4%	10.7%
なんともいえない・わからない	55	10.7%	9.3%	11.8%
不明	5	1.0%	0.4%	1.4%

H 同じ仕事をしていても、女性は男性に比べて賃金が低い	全体		男性	女性
思う	258	50.2%	41.8%	56.7%
どちらかといえば思う	117	22.8%	22.7%	22.8%
どちらかといえば思わない	26	5.1%	8.0%	2.8%
思わない	70	13.6%	19.1%	9.3%
なんともいえない・わからない	39	7.6%	8.0%	7.3%
不明	4	0.8%	0.4%	1.0%
I 女性は男性の補助的な業務や雑用が多い	全体		男性	女性
思う	210	40.9%	37.8%	43.3%
どちらかといえば思う	172	33.5%	32.9%	33.9%
どちらかといえば思わない	20	3.9%	4.4%	3.5%
思わない	79	15.4%	18.7%	12.8%
なんともいえない・わからない	29	5.6%	5.8%	5.5%
不明	4	0.8%	0.4%	1.0%
J 女性は能力を生かせる機会や配置転換が少ない	全体		男性	女性
思う	179	34.8%	33.8%	35.6%
どちらかといえば思う	175	34.0%	37.3%	31.5%
どちらかといえば思わない	28	5.4%	4.9%	5.9%
思わない	53	10.3%	11.1%	9.7%
なんともいえない・わからない	71	13.8%	12.4%	14.9%
不明	8	1.6%	0.4%	2.4%
K 女性は教育訓練の機会が少ない・訓練の内容が男女で異なる	全体		男性	女性
思う	144	28.0%	25.8%	29.8%
どちらかといえば思う	129	25.1%	26.7%	23.9%
どちらかといえば思わない	38	7.4%	8.4%	6.6%
思わない	112	21.8%	28.0%	17.0%
なんともいえない・わからない	83	16.1%	10.7%	20.4%
不明	8	1.6%	0.4%	2.4%
L 女性は男性に比べ昇進・昇格が遅い。または望めない	全体		男性	女性
思う	175	34.0%	29.8%	37.4%
どちらかといえば思う	190	37.0%	38.7%	35.6%
どちらかといえば思わない	20	3.9%	4.9%	3.1%
思わない	63	12.3%	16.0%	9.3%
なんともいえない・わからない	57	11.1%	10.2%	11.8%
不明	9	1.8%	0.4%	2.8%
M 結婚や出産時に退職する習慣や圧力がある	全体		男性	女性
思う	170	33.1%	32.0%	33.9%
どちらかといえば思う	155	30.2%	30.2%	30.1%
どちらかといえば思わない	47	9.1%	9.3%	9.0%
思わない	81	15.8%	18.7%	13.5%
なんともいえない・わからない	54	10.5%	9.3%	11.4%
不明	7	1.4%	0.4%	2.1%
N 女性に対するセクシュアル・ハラスメントがある	全体		男性	女性
思う	104	20.2%	19.1%	21.1%
どちらかといえば思う	135	26.3%	28.0%	24.9%
どちらかといえば思わない	46	8.9%	11.1%	7.3%
思わない	113	22.0%	26.2%	18.7%
なんともいえない・わからない	106	20.6%	15.1%	24.9%
不明	10	1.9%	0.4%	3.1%

「増えていくべきだ」が61%

問7 あなたは、働く女性の管理職について、今後はどのような方向が望ましいと思いますか	99年 前回調査		
もっと増えていくべきだ	313	60.9%	52.6%
現状の程度でいい	81	15.8%	23.0%
もっと減っていくべきだ	7	1.4%	1.5%
なんともいえない・わからない	96	18.7%	17.8%
不明	17	3.3%	5.1%

「子どものしつけ」「介護や看護」は「男女同程度」で

問8 あなたは、ここにあげる家事や地域の活動などするのは、主にどなたがするのがよいとお考えですか			
A 食事のしたく	全体	男性	女性
主に男性	2	0.4%	-
主に女性	222	43.2%	54.7%
男女同程度	77	15.0%	11.1%
こだわらない	195	37.9%	31.6%
わからない	0	0.0%	-
不明	18	3.5%	2.7%
B 育児(乳幼児の世話)	全体	男性	女性
主に男性	0	0.0%	-
主に女性	262	51.0%	60.4%
男女同程度	134	26.1%	20.9%
こだわらない	99	19.3%	16.0%
わからない	1	0.2%	0.4%
不明	18	3.5%	2.2%
C 子供のしつけ・教育	全体	男性	女性
主に男性	6	1.2%	2.2%
主に女性	23	4.5%	5.8%
男女同程度	380	73.9%	75.1%
こだわらない	90	17.5%	15.1%
わからない	2	0.4%	0.4%
不明	13	2.5%	1.3%
D 老親や病身者の介護や看護	全体	男性	女性
主に男性	2	0.4%	0.4%
主に女性	77	15.0%	20.4%
男女同程度	274	53.3%	51.1%
こだわらない	137	26.7%	24.4%
わからない	3	0.6%	1.3%
不明	21	4.1%	2.2%
E PTAへの出席	全体	男性	女性
主に男性	15	2.9%	4.0%
主に女性	76	14.8%	19.1%
男女同程度	235	45.7%	44.9%
こだわらない	163	31.7%	28.0%
わからない	6	1.2%	1.3%
不明	19	3.7%	2.7%
F 町内会・自治会などの行事や会合	全体	男性	女性
主に男性	150	29.2%	34.7%
主に女性	6	1.2%	1.3%
男女同程度	173	33.7%	33.8%
こだわらない	166	32.3%	28.0%
わからない	4	0.8%	0.4%
不明	15	2.9%	1.8%
G 町内会・自治会などの代表者	全体	男性	女性
主に男性	223	43.4%	41.8%
主に女性	1	0.2%	0.4%
男女同程度	125	24.3%	26.2%
こだわらない	144	28.0%	28.4%
わからない	6	1.2%	1.3%
不明	15	2.9%	1.8%

「なんともいえない・わからない」が半数超える

問9 あなたは、女性にとって長野県内は働きやすいと思いますか		
働きやすい	105	20.4%
働きにくい	96	18.7%
なんともいえない・わからない	307	59.7%
不明	6	1.2%

「肉親の支援」や「通勤が便利」が上位に

問10 あなたは、女性が長野県内で働くのに、条件や環境でよい点があるとすればどんなことが挙げられると思いますか(2つ以内)			99年 前回調査
肉親の支援が得られやすい	166	32.3%	45.9%
通勤が便利	157	30.5%	30.0%
住宅など生活費が安上がり	123	23.9%	36.8%
育児や教育との兼ね合いに適している	66	12.8%	14.3%
職場の人間関係・慣行がよい	56	10.9%	11.8%
自分の能力向上の機会が多い	32	6.2%	4.8%
給与など待遇がよい	29	5.6%	2.5%
その他	5	1.0%	0.9%
特にない・わからない	130	25.3%	12.3%
不明	13	2.5%	5.1%

「給与など待遇」に不満

問11 あなたは、女性が長野県内で働くのに、条件や環境でよくない点があるとすればどんなことが挙げられますか(2つ以内)			99年 前回調査
給与など待遇がよくない	166	32.3%	37.2%
自分の能力向上の機会が少ない	126	24.5%	29.6%
通勤が不便	117	22.8%	30.3%
職場の人間関係・慣行がよくない	78	15.2%	13.9%
育児や教育の兼ね合いに不向き	77	15.0%	14.3%
出費が多く生活費が安くない	75	14.6%	17.5%
肉親との関係がわずらわしい	34	6.6%	5.2%
その他	11	2.1%	1.0%
特にない・わからない	109	21.2%	12.6%
不明	14	2.7%	5.1%

「よくない」が「よい」を上回る

問12 あなたは、働く女性を支援する行政や企業の対策の現状について、全般的にどう思いますか			99年 前回調査
かなりよい	6	1.2%	2.7%
まあまあよい	117	22.8%	20.9%
あまりよくない	191	37.2%	37.2%
まったくよくない	30	5.8%	6.3%
なんともいえない	163	31.7%	27.8%
不明	7	1.4%	5.1%

「勤務日や時間を弾力化」がトップ

問13 あなたは、働く女性を支援する対策として、企業ではどんなことが大切だと思いますか(2つ以内)	99年 前回調査		
勤務する日や時間を弾力化する(フレックス・タイムや在宅勤務)	200	38.9%	40.7%
出産・育児後に復帰・再雇用する	169	32.9%	37.5%
介護・看護の支援制度を設ける	155	30.2%	28.6%
仕事の内容・待遇で男性と区別しない	139	27.0%	20.5%
保育・託児の施設を設ける	126	24.5%	24.4%
出産・育児の支援制度を設ける	92	17.9%	15.1%
結婚退職の慣行を廃止する	39	7.6%	11.8%
セクハラを防止する	22	4.3%	2.1%
その他	2	0.4%	0.3%
特にない・わからない	14	2.7%	1.6%
不明	8	1.6%	5.2%

中高年は「介護・看護」、若い年代は「保育施設」「出産・育児」

問14 あなたは、働く女性の支援策として、行政にはどんなことを進めてほしいですか(2つ以内)	99年 前回調査		
介護・看護の支援制度	182	35.4%	36.9%
保育・託児の施設	154	30.0%	29.6%
出産・育児の支援制度の強化	149	29.0%	35.1%
男女雇用機会均等法の徹底	135	26.3%	21.2%
労働時間の短縮	86	16.7%	21.2%
配偶者控除の引き上げ	85	16.5%	19.0%
企業への奨励補助	66	12.8%	10.9%
深夜労働時間の緩和	34	6.6%	7.6%
母性の保護	30	5.8%	7.5%
その他	2	0.4%	0.9%
特にない・わからない	20	3.9%	1.6%
不明	9	1.8%	-

評価分かれ、「役にたった」「役にたたなかった」が相半ば

問15 男女雇用機会均等法が施行されて15年余が過ぎました。あなたは、この法律が果たした役割についてどう思いますか	99年 前回調査		
かなり役にたった	30	5.8%	5.4%
まあまあ役にたった	145	28.2%	29.2%
かなり役にたたなかった	139	27.0%	27.1%
まったく役にたたなかった	29	5.6%	5.2%
なんともいえない・わからない	164	31.9%	33.2%
不明	7	1.4%	-

「現状より増やす」が大勢

問16 あなたは、国や県、市町村の議員や審議会委員などの政策決定の場への女性の進出についてどう思いますか

現状のままでいい	87	16.9%
現状より大幅に増やす	172	33.5%
現状より少し増やす	144	28.0%
現状より大幅に少なくする	2	0.4%
現状より少し少なくする	2	0.4%
その他	11	2.1%
なんともいえない・わからない	85	16.5%
不明	11	2.1%

「男性のほうが優遇」が大差

問17 あなたは、社会全体でみた場合、男女の地位は平等になっていると思いますか

女性のほうが非常に優遇されている	9	1.8%
男性のほうが非常に優遇されている	85	16.5%
どちらかといえば女性のほうが優遇されている	41	8.0%
どちらかといえば男性のほうが優遇されている	261	50.8%
平等になっている	41	8.0%
なんともいえない・わからない	72	14.0%
不明	5	1.0%

「社会慣行・しきたり」「職場」「家庭」が上位に並ぶ

問18 あなたは、男女の地位が平等でないと思うのはどのような分野ですか(いくつでも)

社会慣行・しきたり	361	70.2%
職場	350	68.1%
家庭	277	53.9%
地域	262	51.0%
政治	243	47.3%
法律	88	17.1%
学校教育	58	11.3%
特にない	28	5.4%
不明	23	4.5%

調査票

「第2回女性が働くとき」調査票

ご記入のお願い

全質問に必ず封筒の宛名に書かれたご本人様をご記入ください。

ご回答は右端の枠の中へ、該当の数字をご記入ください。

「その他」に該当する場合は()の中に具体的内容をご記入ください。

問1 あなたは、女性にとって日本は全般的に働きやすい状態にあると思いますか。

- かなり働きやすい
- まあまあ働きやすい
- あまり働きやすくない
- まったく働きにくい
- なんともいえない・わからない

問2 あなたは、一般的に女性が職業を持つことについて、どう思いますか。

- 女性は職業を持たない方がよい
- 結婚するまでは、職業を持つ方がよい
- 子どもができるまでは、職業を持つ方がよい
- 結婚や出産にこだわらず、ずっと職業を続ける方がよい
- 子どもができたら職業をやめ、子育てが一段落したら再び職業を持つ方がよい
- 女性は職業を持つことにこだわらなくてもよい
- その他(具体的に)
- なんともいえない・わからない

問3 あなたは、現在収入のある職業(パートタイム、アルバイトなど含む)に就いていますか。

- 就いている 問4、6へ
- 以前就いていたが、今は就いていない 問5、6へ
- 今まで就いたことがない 問5、6へ
- その他(具体的に) 問6へ
- 答えない 問6へ

問4 (問3で「**就いている**」とお答えの方におたずねします。)

あなたが、現在職業に就いているのはどんな理由ですか。次の中から3つ以内でお答えください。

- 生計維持のため
- 家計費の補助のため
- 子どもの教育・養育のため
- 住宅の新・改築などに伴う借金返済のため
- 老後に備えるため
- 自分で自由に使えるお金(こづかい)を得るため
- 社会に参加、視野を広げるため
- 自分の能力や才能を発揮したい
- 子どもに手がかからなくなったため
- 仕事を通じて友人を得るため
- 家業であるから
- その他(具体的に)
- 特にない

問5 (問3で「**以前就いていたが、今は就いていない**」「**今まで就いたことがない**」とお答えの方におたずねします。)

A あなたが、現在職業に就いていない理由は何ですか。次の中から3つ以内でお答えください。

- 家事・育児に専念したいから
- 介護のため
- 健康や体力に自信がないから
- 賃金・雇用形態などの労働条件に合う仕事がないから
- 勤務時間・場所などの条件に合う仕事がないから
- 仕事を希望しても年齢などの制限があるから
- 家族が働くことを望まないから
- 経済的に仕事に就く必要がないから
- 今の企業社会では女性は働きにくいから
- 現在、学校などに通っているから
- 仕事以外の活動(ボランティア)をしているから
- 定年(退職)
- リストラ
- 職業を持たない方が、自由に生きられるから
- やりがいのある仕事がないから
- その他(具体的に)
- 特にない

B あなたは、現在あるいは将来再び職業に就きたいと思いますか。

- 思う
- 思わない
- わからない
- その他
- (具体的に)

問 6 あなた自身、またはあなたの周りで、女性は男性に比べて次のようなことがあると思いますか。

A 女性は経営の担い手として評価されない

思う 思わない
どちらかといえば思う なんともいえない・わからない
どちらかといえば思わない

B 取引先や金融機関との折衝などで女性は男性に比べて不利だったり、信頼度が低い

思う 思わない
どちらかといえば思う なんともいえない・わからない
どちらかといえば思わない

C 女性は職業上必要な知識や経験が不足している

思う 思わない
どちらかといえば思う なんともいえない・わからない
どちらかといえば思わない

D 女性は従業員などの使い方や気づかいが下手である

思う 思わない
どちらかといえば思う なんともいえない・わからない
どちらかといえば思わない

E 女性は職業意識が低いものとみられる

思う 思わない
どちらかといえば思う なんともいえない・わからない
どちらかといえば思わない

F 女性の上司の下で仕事をするのを部下が嫌がる

思う 思わない
どちらかといえば思う なんともいえない・わからない
どちらかといえば思わない

G 男女で募集・採用数が異なる

思う 思わない
どちらかといえば思う なんともいえない・わからない
どちらかといえば思わない

H 同じ仕事をしていても、女性は男性に比べて賃金が低い

思う 思わない
どちらかといえば思う なんともいえない・わからない
どちらかといえば思わない

I 女性は男性の補助的な業務や雑用が多い

思う 思わない
どちらかといえば思う なんともいえない・わからない
どちらかといえば思わない

J 女性は能力を生かせる機会や配置転換が少ない
 思う 思わない
 どちらかといえば思う なんともいえない・わからない
 どちらかといえば思わない

K 女性は教育訓練の機会が少ない・訓練の内容が男女で異なる
 思う 思わない
 どちらかといえば思う なんともいえない・わからない
 どちらかといえば思わない

L 女性は男性に比べ昇進・昇格が遅い。または望めない
 思う 思わない
 どちらかといえば思う なんともいえない・わからない
 どちらかといえば思わない

M 結婚や出産時に退職する習慣や圧力がある
 思う 思わない
 どちらかといえば思う なんともいえない・わからない
 どちらかといえば思わない

N 女性に対するセクシュアル・ハラスメントがある
 思う 思わない
 どちらかといえば思う なんともいえない・わからない
 どちらかといえば思わない

問7 あなたは、働く女性の管理職について、今後はどのような方向が望ましいと思いますか。

もっと増えていくべきだ
 現状の程度でいい
 もっと減っていくべきだ
 なんともいえない・わからない

問8 あなたは、ここにあげる家事や地域の活動などをするのは、主にどなたがするのがよいとお考えですか。あてはまる欄の番号に をつけてください。

		主に男性	主に女性	男女同程度	こだわらない	わからない
A	食事のしたく					
B	育児 (乳幼児の世話)					
C	子どものしつけ・ 教育					
D	老親や病身者の 介護や看護					
E	P T A への出席					
F	町内会・自治会 などの行事や会合					
G	町内会・自治会 などの代表者					

問9 あなたは、女性にとって長野県内は働きやすいと思いますか。

働きやすい
働きにくい
なんともいえない・わからない

問10 あなたは、女性が長野県内で働くのに、条件や環境でよい点があるとするば、
どんなことが挙げられると思いますか。2つ以内に絞ってお答え下さい。

給与など待遇がよい
自分の能力向上の機会が多い
肉親の支援が得られやすい
通勤が便利
育児や教育との兼ね合いに適している
住宅など生活費が安上がり
職場の人間関係・慣行がよい
その他(具体的に)
特にない・わからない

問11 あなたは、女性が長野県内で働くのに、条件や環境でよくない点があるとするば、
どんなことが挙げられますか。2つ以内に絞ってお答えください。

給与など待遇がよくない
自分の能力向上の機会が少ない
肉親との関係がわずらわしい
通勤が不便
育児や教育との兼ね合いに不向き
出費が多く生活費が安くない
職場の人間関係・慣行がよくない
その他(具体的に)
特にない・わからない

問12 あなたは、働く女性を支援する行政や企業の対策の現状について、全般的にどう
思いますか。

かなりよい
まあまあよい
あまりよくない
まったくよくない
なんともいえない

問13 あなたは、働く女性を支援する対策として、企業ではどんなことが大切だと考えますか。2つ以内に絞ってお答えください。

- 勤務する日や時間を弾力化する（フレックス・タイムや在宅勤務）
- 介護・看護の支援制度を設ける
- 保育・託児の施設を設ける
- 出産・育児の支援制度を設ける
- 出産・育児後に復帰・再雇用する
- 結婚退職の慣行を廃止する
- セクハラを防止する
- 仕事の内容・待遇で男性と区別しない
- その他（具体的に _____)
- 特にない・わからない

問14 あなたは、働く女性の支援策として、行政にはどんなことを進めてほしいですか。2つ以内に絞ってお答え下さい。

- 労働時間の短縮
- 企業への奨励補助
- 介護・看護の支援制度
- 保育・託児の施設
- 出産・育児の支援制度の強化
- 母性の保護
- 男女雇用機会均等法の徹底
- 配偶者控除の引き上げ
- 深夜労働時間の緩和
- その他（具体的に _____)
- 特にない・わからない

問15 男女雇用機会均等法が施行されて15年余が過ぎました。あなたは、この法律が果たした役割についてどう思いますか。

- | | |
|-------------|----------------|
| かなり役にたった | まったく役にたたなかった |
| まあまあ役にたった | なんともいえない・わからない |
| あまり役にたたなかった | |

問16 あなたは、国や県、市町村の議員や審議会委員などの政策決定の場への女性の進出についてどう思いますか。

- | | |
|--------------|----------------|
| 現状のままでいい | 現状より少し少なくする |
| 現状より大幅に増やす | その他 |
| 現状より少し増やす | (_____) |
| 現状より大幅に少なくする | なんともいえない・わからない |

問17 あなたは、社会全体でみた場合、男女の地位は平等になっていると思いますか。

- 女性の方が非常に優遇されている
- 男性の方が非常に優遇されている
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等になっている
- なんともいえない・わからない

問18 あなたは、男女の地位が平等でないと思うのはどのような分野ですか。
該当するものはすべてお答えください。

家庭
職場
地域
政治

学校教育
社会慣行・しきたり
法律
特にない

ご協力ありがとうございました。

次のページでお聞きする事柄は、結果をまとめる上で必要となります。
お手数ですが、引続きお答え頂きますようお願い申し上げます。

